

## 平成 24 年度第 4 回沖縄県がん診療連携協議会・緩和ケア部会議事要旨

[日時]平成 24 年 1 月 22 日 (火) 19:30~21:05

[場所] 琉球大学医学部附属病院 がんセンター

[参加者] 7 名: 足立源樹 (那覇市立病院)、垣花真紀子 (沖縄県立宮古病院)、宮川真一 (沖縄県立南部医療センター・こども医療センター)、笹良剛史 (南部病院)、親泊美香 (中頭病院)、伊藤昌徳 (ハートライフ病院)、依光たみ枝 (沖縄県立八重山病院)

[欠席者] 10 名: 上間一 (オリブ山病院)、棚原陽子 (琉大病院)、喜納美津男 (きなクリニック)、増田昌人 (琉大病院)、上田真 (沖縄県立中部病院)、大湾勤子 (国立病院機構沖縄病院)、福地泉 (アドベンチストメディカルセンター)、友利健彦 (北部地区医師会病院)、栗山登至 (琉大病院)、島袋恭子 (那覇市立病院)、

[陪席者] 1 名: 安里千恵美、(琉大病院)、上原弘美 (沖縄県地域統括相談支援センター)

#### <報告事項>

今回も、Skyp を用いた会議を行った。

#### 1. 「平成 24 年度第 2 回沖縄県がん診療連携協議会・緩和ケア部会」議事要旨について

伊藤副部長より、平成 24 年度第 4 回沖縄県がん診療連携協議会・緩和ケア部会議事要旨が承認された。

#### 2. 緩和ケア研修会実施について

伊藤副部長より、資料 2 に基づき研修会が実施された報告があった。また、これまでの緩和ケア研修会修了者人数は 514 名 (医師のみ) との報告があった。

#### 3. 対がん協会プログラム研修会実施について

沖縄県地域統括相談支援センターの上原さんより、資料 3 に基づき、初級者研修会を開催した報告があった。対がん協会が策定したプログラムと DVD を使用し、平成 24 年 10 月 28 日・11 月 11 日・11 月 23 日の 3 日間行い、受講者は 29 名 (ほとんどが患者) で修了者が 26 名であった。研修会は次年度も開催していく予定である。今回の初級者研修を受講した方について、院内のぴあサロン等で活動できる環境作りを考えているので、その際には、部会員の先生方にもご協力をお願いしたいとの依頼があった。

#### 4. 緩和ケアフォローアップ研修会・在宅緩和ケア研修会について

笹良部長より、資料 4 に基づき、研修会の案内があった。

日程は、3 月 2 日 (土) 14 時~沖縄県医師会館にて、対象は、緩和ケア研修会修了者。

研修内容は、アドバンス・ケア・プランニングとエンド・オブ・ライフ・ケアについてで、グループワークも行う。研修会終了後は、懇親会も予定している。緩和ケアチームに関わっている方などに、参加の声をかけをお願いしたいとアナウンスされた。

## 5. 次回の部会日程について

次回は平成25年4月9日（火）19：00～がんセンターにて開催予定

### <協議事項>

#### 1. 在宅緩和ケア地域連携事業の取り組みについて

- ①「二次医療圏内の在宅療養支援診療所等のリスト及び在宅緩和ケア連携を患者家族に示せる在宅緩和ケアマップの作成」について  
資料5に基づき、在宅緩和ケアマップの作成についてディスカッションが行われ、以下の3点をホームページ作成業者へ要望する事になった。また、アンケート項目については、相談支援部会にも意見を伺う事となった。
  - ①全体地図に「おきなわがんサポートハンドブック」の地図を使用する。
  - ②全体地図からグーグルマップにリンクできるようにする。
  - ③地域ごとに五十音順で在宅療養支援診療所と訪問看護STを別々に表示出来るようにする。
- ②「症状緩和を目的とした緩和ケア関連の地域連携クリティカルパスの作成と運用」について  
資料6に基づき、在宅緩和地域連携パスの作成と運用について、ディスカッションが行われ、今後の運用について以下のような案が出された。
  - ①パスの内容について、在宅医療を行っている喜納先生に確認してもらう。
  - ②高知県のパスを、をそのまま使用し、使用しながら修正を行い全県に広めていく。
  - ③全県統一してパスを使用するなら、今後の緩和ケア研修会等でパスの運用について教育プロジェクトに組み込んで説明していく必要がある)
  - ④運用については、喜納先生のクリニックと那覇市立病院、南部病院と豊見城中央病院、在宅療養支援診療所でパイロット的に運用を始めてみる。(期間は1ヶ月～2ヶ月で患者さん5人位で進めていく。)

#### 2. 平成25年度部会事業計画と予算案について

資料7に基づき、次年度の予算案の確認を行い、以下の事業について予算を計上する事になった。

- 1・緩和ケア情報シートの分析を行う
- 2・疼痛除去率調査

事務局より、患者会への協力として、「離島で講演会や研修会を開催する」という事業計画に対する予算について、緩和ケア部会だけでなく、いくつかの部会で、まとめて離島で研修会や講演会を開催し、旅費は各拠点病院で負担し、講師代金を宮古病院または、八重山病院で負担していただけないかと提案させて頂いた。八重山病院、宮古病院より、負担に関しての返答は出来ないという事で、次回の部会で、増田先生より、再度、説明して、今後の方針を決めていく事とする。

#### 3. その他

- ①次年度の緩和ケア研修会について  
伊藤副部長より、次年度の緩和ケア研修会開催についての確認があった。  
笹良部長より、次年度の緩和ケア研修会プログラム作成について、これまでのプログラムの

「療養場所の選択と地域連携室」のセッションに、アドバンス・ケア・プランニングの1部分や看取りを組み込む事を検討していくとの説明があった。また、栗山先生が去年参加した「緩和ケア研修会スキルアップ・ミーティング」でプログラム修正に関しての資料があれば、各拠点病院の部会委員にメールで提供して欲しいとの依頼があった。（栗山先生に確認したところ、資料は何もなかったという事でした。）

②事務局より、下記のイベントのアナウンスを行った。

(1) 在宅医療のための研修会について

2月2日(土) 13時～16時まで 浦添市てだこホール市民交流室にて  
講演と座談会を行う。(参加費無料・申込みなし)

(2) 沖縄がん心のケア研究会 講演会

2月16日(土) 17時～18時 宮古島マリンターミナル2階大研修室  
入場無料、医療者および一般向けの講演です。



## 平成 2 5 年度第 1 回沖縄県がん診療連携協議会・緩和ケア部会議事要旨

[日時]平成 2 5 年 4 月 9 日 (火) 19 : 20 ~ 21 : 15

[場所] 琉球大学医学部附属病院 がんセンター

[参加者]11 名 : 足立源樹 (那覇市立病院)、垣花真紀子 (沖縄県立宮古病院)、宮川真一 (沖縄県立南部医療センター・こども医療センター)、笹良剛史 (南部病院)、親泊美香 (ちばなクリニック)、伊藤昌徳 (ハートライフ病院)、喜納美津男 (きなクリニック)、増田昌人 (琉大病院)、上田真 (沖縄県立中部病院)、栗山登至 (琉大病院)、島袋恭子 (那覇市立病院)、福地 泉 (アドバンスケアセンター)

[欠席者]3 名 : 棚原陽子 (琉大病院)、大湾勤子 (国立病院機構沖縄病院)、友利健彦 (北部地区医師会病院)、

[陪席者]1 名 : 安里千恵美、(琉大病院)、< 報告事項 >

今回も、Skyp を用いた会議を行った。

1. 「平成 2 4 年度第 4 回沖縄県がん診療連携協議会・緩和ケア部会」議事要旨について  
伊藤副部長より、平成 2 4 年度第 4 回沖縄県がん診療連携協議会・緩和ケア部会議事要旨が報告された。
2. 緩和ケアフォローアップ研修会について  
笹良部長より、資料 2 に基づき 3 月 2 日 (土) に研修会を開催した報告が行われた。  
プログラムは、「アドバンスケアプラン」と「死が近づいたとき」を取り入れた。今後も年 1 回は開催したい。
3. 今年度の緩和ケア研修会開催日程について  
伊藤副部長より、資料 3 に基づき今年度の緩和ケア研修会日程が報告された。  
中部病院は、A 日程の開催日を検討中。豊見城中央病院は、開催を検討中。
4. 除痛率調査の研修会について  
増田委員より、研究班で進めている国立がん研究センターの的場先生を中心とするメンバーを沖縄に招聘し、研修会を企画している。参加対象者は、除痛率調査を行っている施設の実務者 (看護師、病棟師長等)
5. 在宅緩和ケア連携を患者家族に示せる在宅緩和ケアマップの作成について  
事務局より、資料 4 に基づき在宅緩和ケアマップの進捗状況の報告を行った。  
完成は 4 月中を予定としている。

## 6. 症状緩和を目的とした緩和ケア関連の地域連携クリティカルパスの作成と運用について

笹良部会長より、資料5に基づき、パスは、高知大学が作成したものを使用しながら沖縄版に改訂していく事が報告された。運用に関しては、5大がんのクリティカルパスを運用している地域ネットワーク部会に協力を依頼する事になった。4月17日（水）の地域ネットワーク部会に笹良部会長が陪席する。

### <協議事項>

#### 1. 平成25年度の部会委員及び部会長・副部会長選任について

前年度に引き続き、部会長・笹良先生、副部会長・伊藤先生の継続が承認された。部会委員については、オリーブ山病院は病院長へ推薦を依頼する。八重山病院は依光先生へ後任を確認する。追加の委員については、伊藤先生が一人検討する事になった。

#### 2. 平成25年度部会事業計画と予算案について

資料7に基づき今年度の事業計画の確認を行った。事業の優先順位については、事務局でたたき台を作成し、メーリングリストで確認する事になった。事業計画のロジックモデルについて、現在の進捗状況を調べ、次回の部会で、修正の検討を行う。

#### 3. 今後の緩和ケア研修会プログラムについて

資料8に基づき、次年度のプログラムについて検討を行った。基本プログラムは変えずに、+αについては、今後検討していく事となった。

#### 4. 研修医に対する緩和ケア研修会受講必修化について

増田先生より、資料9に基づき緩和ケア研修会受講必修化について説明があった。部会では、必修化を提案する文書を作成する事になった。

#### 5. 増田委員より、「おきなわがんサポートハンドブック第3版」が発行された報告があった。

来月、県より各施設へ配布予定となっている。